

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名：千葉県 県土整備部 街路モノレール課

事業の名称：東武野田線（鎌ヶ谷駅付近）連続立体
交差事業

実施都市名：鎌ヶ谷市

事業の目的

鎌ヶ谷市の中心市街地を南北に走る東武野田線は、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等により都市機能や生活機能に様々な問題が生じています。

こうした状況を解消するため、鉄道を高架化し既存の9所の踏切道を除去することにより、踏切遮断による交通渋滞の解消、及び鉄道により分断された市街地の一体化を図る目的で連続立体交差事業を実施するものです。

事業概要 (1)

事業名: 東武野田線 (鎌ヶ谷駅付近)

連続立体交差事業

路線名: 東武野田線

事業箇所: 馬込沢駅～^{むつみ}六実駅間

事業延長: 2,365m

除却踏切数: 9箇所

総事業費: 約172億円 (うち都市側負担73億円)

**事業期間: 平成3年度～平成17年度
(平成16年10月複線化運行)**

事業主体: 千葉県

事業の施行: 千葉県・鎌ヶ谷市・東武鉄道(株)

事業概要 (2)

本事業は、東武野田線の馬込沢駅から六実駅間2,365mを高架化し既存の踏切9箇所を一挙に除却するものです。

また本事業区間はあわせて複線化することにより、鉄道輸送力の増強も行います。

踏切除却は、平成11年11月に完了。平成16年10月には複線化が完了しました。

事業位置図



東武野田線（鎌ヶ谷駅付近）連続立体交差事業の整備効果アピール資料

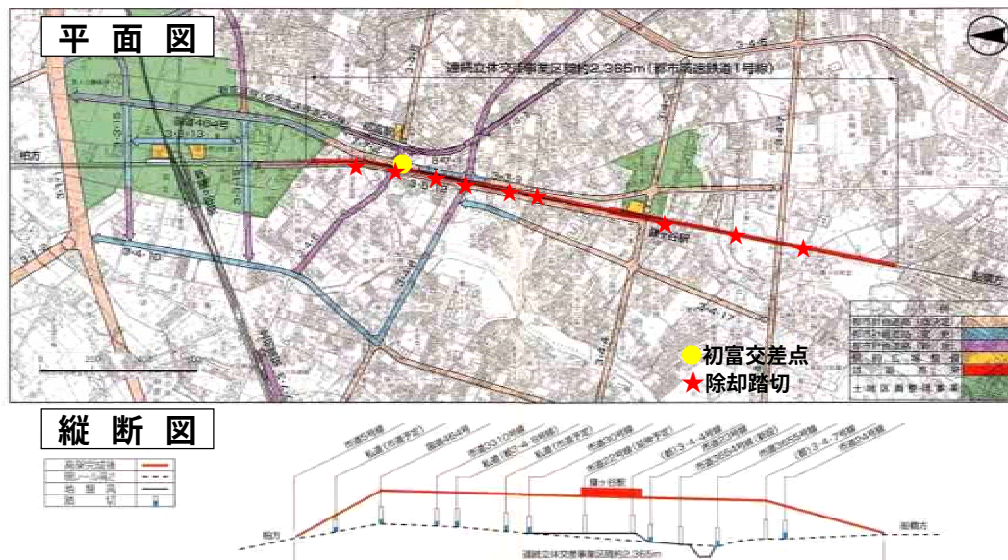
東武野田線（鎌ヶ谷駅付近）連続立体交差事業 ～踏切の除却により、道路交通がスムーズになりました～

平成17年度、東武野田線（東道野辺三丁目～初富本町一丁目）の約2.4kmにおける連続立体交差事業が完了しました。

事業概要

- ・事業名：東武野田線（鎌ヶ谷駅付近）連続立体交差事業
- ・事業区間：東武野田線（馬込沢駅～六実駅間）
- ・事業延長：2,365m
- ・除却踏切数：9箇所
- ・事業年度：平成3年度～平成17年度（平成16年10月複線化運行）
- ・高架化された駅：鎌ヶ谷駅
- ・事業費：約172億円（うち、都市側負担 約73億円）
- 交通量調査結果
 - 供用前 平日 平成10年2月17日（火）
休日 平成10年2月14日（土）
 - 供用後 平日 平成17年8月23日（火）
休日 平成17年8月21日（日）
- 鉄道との交差道路（新設を含む7路線計）
25,800（台/12h）→28,500（台/12h）

◆東武野田線（鎌ヶ谷駅付近）連続立体交差事業の概要



整備効果

- 踏切遮断時間の解消（9箇所）
4.4（時間/日）⇒0（時間/日）
解消
- 踏切直近の初富交差点の渋滞発生時間の改善
12（時間/12h）⇒5（時間/12h）
6割減少
- 交通量の増加、東西市街地の一体化
25,800（台/12h）→28,500（台/12h）
1割増加
- 経済効果
年間5億円

【事業前】



【事業後】



事業前写真 (国道464号)



事業後写真 (国道464号)



事業前写真 (市道23号線)



事業後写真 (市道23号線)



事業前写真 (鎌ヶ谷駅上空)



事業後写真 (鎌ヶ谷駅上空)



事業前写真 (鎌ヶ谷駅)



事業後写真 (鎌ヶ谷駅)

